

令和 6 年 度

 (校章) 所在地 千代田区立番町小学校 校 長 傳 田 学 副 校 長 久 道 泰 司 愛育会会長 板 橋 喜 彦 〒102-0085 千代田区六番町8番地 電 話 03-3263-3721 F A X 03-3263-3723 最寄り駅 四ツ谷駅、市ヶ谷駅、麴町駅	児童数と学級数（令和6年4月1日現在）								
	学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	学級数		2	3	3	2	2	2	14
	児童数	男	25	43	46	39	48	38	239
		女	24	36	29	23	22	35	169
		計	49	79	75	62	70	73	408
創立記念日 12月4日									

I 教育の概要

1 学校・地域の特徴

学区域は、紀州家・尾張家・井伊家の中屋敷があったほか、殆どが「番方」の住む江戸の武家屋敷町であったことから、「番町」という地名がついた。明治維新後は、この地に政治家や文化人等が多く居住していた。環境的には、四谷・市ヶ谷の外濠土手、紀州家跡の清水谷公園等、緑の多い高級住宅地として知られている。近年は、大学や私立学校・在日外国人学校等が増え文教地区を形成している。また、国際ホテルや高級マンションが林立し、町の様相が変わってきている。

本校は、明治3年6月13日に、市ヶ谷八幡洞雲寺に、東京府下仮小学校の一つとして設置された。その翌年、明治4年12月4日に、文部省直轄の小学第二校に呼称を改め、正式の小学校として開校式を行う。以来、12月4日を創立記念日として150年以上の歴史を刻み、今日に至っている。

2 教育目標

(1) 学校の教育目標

千代田区共育ビジョンの理念に基づき、人と人のつながりの中で生き、自分自身と向き合いながら新しい時代を生きぬく子どもを育むため、次のように目標を設定する。

○考える子

習得した知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を磨き合いながら主体的に学習に取り組む児童を育てる。

○思いやる子

豊かな人間性をもち、生命や人権を尊重しながら互いを高め合う児童を育てる。

○やりぬく子

健康な体と健全な心を持ち、何事にも前向きな気持ちで挑戦し、最後までやりぬく児童を育てる。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

○授業改善の推進

- ・自ら課題を発見し、その解決に向かい取り組む意欲を高める。
- ・論点を明らかにし、対話を通して児童が互いに思考・判断・表現力を深めるよう取り組む。
- ・児童が自らの学びを振り返り、その成果と課題を次の学びに生かすよう取り組む。

○人権教育の推進

- ・生命や他者の気持ちを尊重する気持ちや、相手に対する誠実な態度を育むため、道徳教育を核に教育活動全体を通して心の教育を推進する。

○健康教育の推進

- ・日常的に運動に親しむとともに食育や生活習慣の振り返りを通して、児童が自己の健康に着目し、積極的に体力を高めることができるよう健康教育を推進する。

○地域・家庭とともに創る学校の実現

- ・互いの役割を精査・確認しながら、学校と家庭・愛育会・同窓会・地域との緊密な連携を図り、児童のために同じ方向を向いて後押しする体制を整える。また、教員、講師、支援員等すべての教職員が丸となり本校の歴史と伝統を紡いでいく。
- ・新しい時代を生きぬく子どもたちに何ができるようになるかを明確にし、求められる能力を地域と共有し、学校内外の人的・物的資源を活用した横断的な学習を推進し、社会に開かれた教育課程の充実を図る。

○つなぐ・つなげる千代田の教育の推進

- ・新学習指導要領に基づいた児童の資質・能力の育成に向け、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる。特に、GIGAスクール構想を踏まえ、一人一台タブレットPCを効果的に活用するとともに、未来社会を生きる児童の活躍を見据え、児童が学んだことを生かすことができるよう授業の改善を行う。
- ・ちよだスマートスクールに基づき、児童に付けさせたいICTを活用する力を明確にした授業を構築するとともに、ICTを活用したプログラミング教育を実施し、児童の論理的思考力を高める。

○特別支援教育及び生活指導の充実

- ・インクルーシブ教育の考え方に立ち、すべての教職員と保護者、地域との連携を基盤に、一人一人を伸ばし育てるための環境、指導方法、合理的配慮について推進する。
- ・特別支援教室における個別指導、小集団指導の充実を図るとともに、通常の学級における支援体制や指導の工夫を推進する。
- ・就学前教育との接続を意識し、第1学年のすべての児童が円滑に小学校での教育活動に参加できるよう、計画的にスタートカリキュラムを実施する。また、すべての学年において番町スタートプランを設定し、学習規律の確立を目指すとともに、児童と教員の信頼関係を築く。
- ・幼稚園と小学校の連携を深め、児童・園児相互の成長を図ることをねらいとし、各学年が幼稚園児と遊びや読み聞かせを通して交流する。また、学芸会や運動会などの行事においても合同で行う。
- ・児童の発達の段階に合わせ、生命(いのち)の安全教育に取り組み、児童が性暴力の加害者、被害者、傍観者となることがないようにする。

○特色ある教育の推進

- ・外国語科においてティーム・ティーチングや児童一人一台タブレットPCを活用した授業を取り入れた英語の学習を研究するなど、児童一人一人の能力に応じて主体的に外国語でコミュニケーションを図るための基礎となる能力を育成する。また、TGGの利用や大使館等との交流活動により、世界の文化に触れることで、国際教育を推進する。
- ・総合的な学習において、生活の中の疑問や身近な問題をきっかけとして、問題解決的な学習を行い、児童一人一人が自己の生き方やより良い社会づくりについて考えることができるよう取り組む。特にSDGsの取り組みをCES(千代田エコシステム)と関連させ、持続可能な社会づくりのための課題解決に必要な7つの能力・態度を身に付けることを目標とし、SDGsに対する理解にとどまらず、実践を通して学ぶようにする。
- ・これまで取り組んできたオリンピック・パラリンピック教育の成果をレガシーとして引継ぎ、スポーツ志向、日本の伝統文化などを体育の授業や、学校行事、総合的な学習の時間などで取り組む。

○いじめ防止への取組

- ・6月と11月にふれあい月間を設定し、児童アンケートをもとに児童の悩み等の相談をはじめ学校の中で起こる様々なトラブルの解消を目指し、よりよい学校生活を送ることができるよう取り組む。また、自殺予防の観点から、第6学年において生命尊重の授業を行う。

○学校運営に生かす学校評価

- ・学校関係者や自己評価等の学校評価を実施し、その結果を分析し、教育課程の改善に取り組むとともによりよい学校運営に努める。
- ・地域貢献の実感をもつことができる取組を重視するために、番町小で引き継がれている文化的行事を現状に沿って評価を行う。

3 年間行事計画(毎月、避難訓練・安全指導を実施)

4月	・春季休業終 ・1学期始業式 ・入学式 ・防犯ベル訓練 ・保護者会 ・1年生を迎える会 ・1年交通安全教室 ・全国学力・学習状況調査 ・2、3年消防写生会
5月	・離任式 ・1・2年校外学習 ・体力テスト
6月	・都学力調査(4年) ・箱根移動教室 ・体力テスト(1～6年) ・プール開き ・3年校外学習 ・4年校外学習 ・5年校外学習 ・個人面談
7月	・七夕集会 ・音楽鑑賞教室(6年) ・1学期終業式 ・夏季休業始 ・保田臨海学校
8月	・夏季休業終
9月	・2学期始業式 ・番町大運動会 ・水泳記録会 ・プール納め ・保護者会
10月	・孺恋自然体験交流教室 ・番町小いのちの日 ・3年校外学習
11月	・学芸会 ・勤労感謝の会 ・2年校外学習 ・個人面談 ・連合音楽会(4年)
12月	・1年校外学習 ・6年国会見学 ・2学期終業式 ・冬季休業始
1月	・冬季休業終 ・3学期始業式 ・席書会 ・書き初め展
2月	・持久走記録会 ・道徳授業地区公開講座 ・新1年保護者会 ・6年生を送る会 ・6年校外学習
3月	・保護者会 ・謝恩会 ・修了式 ・卒業式 ・春季休業始

Ⅱ 現 況
学校施設・規模一覧

現 校 舎	起工 昭和 45 年 10 月 3 日 竣工 昭和 47 年 3 月 2 日		教 室	普通	12室 1室=63㎡
校舎構造	鉄筋コンクリート 地上 4 階 地下 1 階			特別	24室 理科室、音楽室、図画室、工作室、家庭科室、 各準備室、図書室、ごろんちよ、ランチルーム、 少人数教室、特別支援教室、記念資料室、教育相談室、 放送室、資料室
敷地面積	7005. 86㎡		管理室 その他	校長室、応接室、職員室、事務室、保健室、 会議室、印刷室、主事室、給食調理室、更衣室 アフタースクール番町	
延床面積	5912㎡				
運 動 場	屋内	714㎡	プー ル	25m×8.8m・4 コース 水深 1.2m～0.85m 徒歩プール 10m× 3m 水深 0.5m～0.3m	
	屋外	2608㎡			
	屋上	897. 5 ㎡			
	合計	4219. 5 ㎡			

Ⅲ 沿革の概要

明	3. 6.13	市ヶ谷八幡洞雲寺に、東京府下仮小学校の一つとして設置。
明	4.12. 4	仮小学校を廃し文部省直轄の小学第二校の呼称に改める。正式の小学校としての誕生を記念し開校式を行い、この日を立記念日と定める。
明	5. 6.	現在地に移転。（小幡藩邸跡）
明	6. 5. 3	第三中学区第一番小学・番町学校と改称。
明	19.10.26	皇太子殿下（後の大正天皇）をお迎えする。
明	22.11.	東京市になったお祝いに梅のかんざしを付けて鎌倉合同遠足に行く。（現在の校章のもと）
明	35. 4.	校章をβから梅の花に変える。校歌「われらがかざせる」ができる。
明	41. 4. 1	高等科分離、番町尋常小学校と改称、校旗ができる。
大	9.12. 4	創立 50 周年式典を挙行。
大	12. 9. 1	関東大震災で新築中の校舎が被害を受ける。
大	13. 3.21	鉄筋コンクリート 3 階建ての耐震、耐火校舎ができる。
昭	16. 4. 1	東京市立番町国民学校と改称。
昭	19. 9. 1	山梨県吉田に戦時集団疎開。
昭	20. 5.25	東京大空襲のため、校舎、教具、書類の大半を消失。
昭	20.10.22	集団疎開を解団し、全児童母校に帰校。
昭	20.11. 5	残存教室で授業開始。（児童数 78 名）
昭	22. 4. 1	東京都千代田区立番町小学校と改称。
昭	26.12. 4	天皇陛下の行幸を仰ぎ、創立 80 周年記念式典を挙行。（児童数 658 名）
昭	32. 4. 1	児童数 1,700 名となる。
昭	36.12. 4	皇太子殿下、皇太子妃殿下の台臨を仰ぎ、創立 90 周年記念式典を挙行 現在の講堂ができる。
昭	40. 9.	ニューヨーク市立クインズ第 24 小学校と姉妹校になる。
昭	47. 3. 2	新校舎落成式（現在の校舎）校地買収 60.20 坪、総費用 430,104,000 円。
昭	47. 5.10	天皇・皇后両陛下の行幸を仰ぎ、創立百周年記念式典を挙行。
昭	50. 6.26	全国社会科研究大会
昭	51. 2.26	千代田区研究協力校発表会
昭	53.10.27	全国理科研究大会
昭	56. 6.25	千代田区研究協力校発表会
昭	56.12. 4	皇太子殿下、皇太子妃殿下の台臨を仰ぎ、創立 110 周年記念式典を挙行。
昭	59.11.24	全国道徳・特別活動研究発表会
昭	60.11.21	千代田区研究協力校発表会「特別活動」
昭	63.10.28	日本初等理科教育研究全国大会
平	元. 6. 6	千代田区研究協力校発表会「理科」
平	3.12. 4	皇太子殿下の台臨を仰ぎ、創立 120 周年記念式典を挙行。
平	5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田番町小学校となる。
平	5.10.20	ポルトガル共和国ソアレス大統領夫人来校
平	5.11. 2	全国小学校社会科研究協議会全国大会並びに千代田区研究協力校発表会「社会科」
平	6. 1. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立番町小学校となる。
平	6.10.24	フィジー共和国ランブカ首相夫人来校
平	7.10.29	校章制定（菊池稔夫案）
平	7.10.30	パキスタン・イスラム共和国上院議長夫人来校
平	8.10.11	協力指導組織研究全国大会
平	9. 1.24	文部省読書指導研究指定校・千代田区研究協力校発表会
平	10.12.14	ラトビア共和国大統領夫人来校
平	11.12. 4	開校記念日を定める。（1 2 月 4 日）
平	12. 2. 5	二つの校歌を制定する。 「輝いて今日を」（中田喜直作曲、こわせたまみ作詞） 「われらがかざせる」（中村秋香作詞、小山作之助作曲）

平	12. 4. 1	地方自治法の改正に伴い千代田区立番町小学校となる。
平	12.10.13	中華人民共和国首相夫人来校
平	12.11.10	千代田区研究協力校発表会「生活科」「総合的な学習の時間」
平	16.12.10	千代田区研究協力校発表会「生活科・総合（他教科関連）」
平	18. 7. 5	アメリカ連邦議会より視察来校。
平	18.10.31	安倍総理大臣夫人、タンザニア大統領夫人来校
平	18.12. 2	創立 135 周年記念式典を挙る。
平	18.12. 5	パキスタンイスラム共和国より国賓来校。
平	18.12.14	公賓インド首相歓迎行事参加（首相官邸）
平	19. 1.29	東京都小学校理科教育研究会研究発表会「生活科・理科」
平	19. 3.26	スウェーデン国王歓迎行事参加（皇居）
平	19. 4.11	中国国務院総理公賓歓迎行事参加（首相官邸）
平	19. 5.18	カンボジア首相歓迎行事参加（首相官邸）
平	19.10.17	スーダン国大臣 視察来校
平	19.12. 3	国立教育政策研究所教育課程研究指定校・千代田区研究協力校発表会「理科・生活科」
平	20. 3.	校舎耐震工事（～20.9）
平	20. 6.30	パン・ギムン国連事務総長歓迎行事参加（首相官邸）
平	20.11.11	スペイン国王歓迎行事参加（セルバンテス文化センター東京）
平	20.12.12	国立教育政策研究所教育課程研究指定校・千代田区研究協力校発表会「理科・生活科」
平	21. 5.11	シンガポール大統領歓迎行事参加（皇居）
平	21.12. 9	シリア・アラブ共和国副首相夫人来校
平	22. 5.31	中国首相歓迎行事参加（首相官邸）
平	22.12.10	千代田区研究協力校発表「社会科・生活科」
平	23.12. 4	皇太子殿下の台臨を仰ぎ、創立 140 周年記念式典を挙る。
平	24.12.10	東京都教育委員会言語能力向上推進校研究発表会（2 年次）「社会科・生活科」
平	26. 1.17	東京都教育委員会言語能力向上推進校（3 年次）・千代田区教育委員会研究協力校研究発表会（1 年次）「国語科・読書」
平	26. 3.17	ベトナム国家主席歓迎行事参加（皇居）
平	26.10.29	オランダ国王歓迎行事参加（皇居）
平	26.11.11	国立教育政策研究所学力把握実践研究協力校・東京都教育委員会言語能力向上拠点校、 千代田区教育委員会研究協力校（2 年次）研究発表会「国語科・読書」
平	28.2.19	国立教育政策研究所学力把握実践研究協力校・東京都教育委員会言語能力向上拠点校 研究発表会「国語科・読書」
平	28.10.11	ベルギー王国国王フィリップ陛下及び同王妃陛下歓迎行事参加（皇居）
平	28.11. 4	国立教育政策研究所学力把握実践研究協力校・東京都教育委員会言語能力向上拠点校・千代田区教育委員会研究協力校 研究発表会「国語科・読書・理 科」
平	28.11.30	
平	28.12.3	シンガポール共和国大統領トニー・タン・ケン・ヤム閣下及び同令夫人歓迎行事参加（皇居）
		創立 145 周年記念式を挙る。
令	1.5.27	アメリカ合衆国大統領ドナルド・トランプ氏歓迎行事参加（皇居）
令	3.12.4	創立 150 周年記念式典
令	4.2.25	千代田区教育委員会研究協力校（2 年次）研究発表会